

1 はじめに

本マニュアルは、輸送時間 50 時間程度の距離を最低限の資機材で輸送するための梱包条件について明らかにしたものです。

なお、本マニュアルの実践にあたっては、必要となる資機材は以下の通りです。

資機材名	説明
タンク	出荷するホヤを収容可能なサイズのもの
濾過海水製造機器 (冷却機能付)	タンクを 1.5 時間満水にする程度の注水能力のもの 5～19℃の調温・冷却能力があること
発泡スチロール箱	板厚 25mm 以上
冷却剤	海水をパウチ袋に密封し、凍結したもの
断熱材	新聞紙を丸めたものやエアキャップなどの緩衝材
袋	発泡スチロール箱が収容できる大きさのもので、水を通さないもの。アルミ蒸着袋であれば、尚良い

2 出荷前日の処理

(1) 選別

- 漁場から水揚げしたホヤの塊を個体に分解し、400g 以上の個体を選別します。

(2) デトックス処理

- 濾過海水機で製造した濾過海水（水温は 12～19℃）をかけ流しにしたタンクに約 24 時間収容し、餌止めした状態で糞を吐き出させます。
- 処理中の個体は、出水孔（マイナス側）から細い紐状の糞を吐出し続けます。

3 出荷当日の処理

(1) ホヤの冷却

- 梱包後の保冷効果を高めるため、冷却濾過海水（約 5℃）に 30～60 分程度浸漬します。

(2) 梱包

- 箱に下から冷却剤、断熱材を入れ、箱全体を覆う大きさの袋を掛けます。
- 袋の中に冷却したホヤを隙間無く詰めます。
- 袋の口を折りたたんでテープで止めます。（窒息を避けるため密封しないこと）。
- 箱に蓋をしてガムテープで止めます。

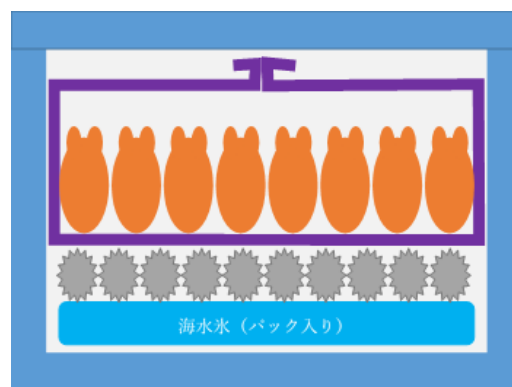


図1 梱包の模式図

(3) 発送

- 箱内のホヤが転倒しないように、天地無用でクール冷蔵便にて発送します。
- 利用可能な輸送方法は、トラック便及び航空便です。